傍聴資料

令和７年第２回定例会
一般質問通告一覧表（要旨略）

今帰仁村議会

通告順	通告者氏名	質問事項（要旨略）
1	座間味　靖	①字費について ②戦後 80 年の取り組みについて ③有機農業(農法)や自然農業(農法)の推進について ④学校の現況について ⑤百按司墓の遺骨返還について
2	島袋　輝也	①高齢者運転免許自主返納者の支援制度について ②村の地方創生について ③地域課題について ④施政方針について
3	根路銘　弘美	①イノシシによる農作物の被害状況と対策について ②世界遺産今帰仁城跡について
4	與那　勝治	①本村の若者に対する就業支援について ②各公民館補助金の使途について
5	上間　聰	①イノシシの被害対策について ②今帰仁中学校の送迎バスの運用について ③排水計画について
6	島袋　誠	①今帰仁村運動公園の安全管理について ②今帰仁中学校の安全管理について ③セグロウリミバエ対策について
7	石嶺 美奈実	①沖縄県北部地区の米軍基地負担について ②妊娠・不妊治療・出産・産後ケア、病児保育について ③防犯について ④農業について ⑤浄化槽について
8	東恩納寛政	①リチウム電池等による火災発生について ②マイナ保険証の今帰仁村の利用率について
9	座間味　薫	①三村交流事業について ②通学路の安全対策について
１０	上原　祐希	①自主財源の確保と拡大について ②観光振興について

※都合により順番変更になる場合があります。予めご了承ください。

一般質問通告書

令和７年

第２回今帰仁村議会定例会

質 問 日

６月 17 日（火）

６月 18 日（水）

今帰仁村議会

令和7年6月5日

一般質問通告者一覧表

今帰仁村議会

通告順	氏　　名	方式	備　　考
1	座間味　靖	一問一答	Ｐ１～Ｐ２
2	島袋　輝也	一問一答	Ｐ３
3	根路銘弘美	一問一答	Ｐ４
4	與那　勝治	一問一答	Ｐ５
5	上間　　聰	一問一答	Ｐ６
6	島袋　　誠	一問一答	Ｐ７
7	石嶺　美奈実	一問一答	Ｐ8～Ｐ9
8	東恩納寛政	一問一答	Ｐ10
9	座間味　薫	一問一答	Ｐ11
10	上原　祐希	一問一答	Ｐ12
合計	10名		

受付
7.6.2
今帰仁村議会

令和７年６月２日

今帰仁村議会議長　上原　祐希　　殿

今帰仁村議会議員　座間味　靖

一般質問の通告について

次の事項について質問致したいので、会議規則第６１条第１項及び、第２項の規定により通告します。

記

一問一答方式

質　問　事　項	質　問　要　旨	答弁者
１．字費について	本村の字費は字によって異なり、近隣の市町村と比べて高い傾向にある。高齢者世帯や子育て世帯等から不満の声がある。字費は税金とは違い任意の徴収なので、負担感が少なく同額が望ましいと考える。例えば各世帯月１，０００円、後期高齢者世帯と子育て世帯は月５００円、困窮世帯は免除とし、不足額は各字に村から補助をしてはと考えるが見解を伺う。	村　長
２．戦後８０年の取り組みについて	今年は悲惨な沖縄戦から８０年が経過する。本村でも戦争体験者が少なくなる中、体験談をまとめることは喫緊の課題である。 各字と協力し字史に収められている内容や新たに聞き取り調査を行い村全体の体験談集を作ってはと考えるが見解を伺う。	村　長
３．有機農業（農法）や自然農業（農法）の推進について	食の安心安全を確保することは医食同源に繋がる大切なことである。 地方創生伴走支援者のアドバイスを受け、国が推進する「オーガニックビレッジ」を活用し有機農業（農法）や自然農業（農法）を推進してはと考えるが見解を伺う。	村　長

４．学校の現況について	令和７年度がスタートしているが、教員（県費）・職員（村費）等の配置状況はどうなっているか伺う。また、児童・生徒の不登校状況はどうなっているか伺う。	教育長
５．百按司墓の遺骨返還について	京大から教育委員会へ百按司墓の遺骨が返還されたと報道されている。報道によると「協議書」には埋葬しないことが条件とあるが、その経緯を伺う。また、今後どのような対応を考えているか伺う。	教育長

受付
7.6.2
今帰仁村議会

令和７年６月２日

今帰仁村議会議長　上原 祐希　　殿

今帰仁村議会議員　　島袋　輝也

一般質問の通告について

次の事項について質問致したいので、会議規則第６１条第１項及び、第２項の規定により通告します。

記

一問一答方式

質問事項	質　問　要　旨	答弁者
１高齢者運転免許自主返納者の支援制度について	（１）今帰仁村の車免許所持者の６５歳以上の高齢者比率を伺う。 （２）本村の６５歳以上の高齢者免許自主返納実績を伺う。 （３）　運転免許自主返納を促す施策を伺う。	村　長
２村の地方創生について	ジャングリア沖縄の開業は、本村の経済に大きな影響を与えると考えられる。今帰仁村経済回復対策協議会の役割を伺う。 ・地域経済の活性化と住民の生活環境の調和	村　長
３地域課題について	（１）　村道諸志与那嶺線の交通安全対策を伺う。 ・滑り止め舗装や村道沿いの繁茂した雑草管理 ・水道施設諸志ポンプ場施設の雑草・雑木管理 （２）　諸志港川(水路)の管理について伺う。 ・のり面の雑草対策（セメント舗装） ・水路内の浚渫 （３）　諸志佐田浜の自然海岸の景観保全対策を伺う。 ・海浜条例を策定する考えはないか	村　長
４施政方針について	平和行政の推進については、「沖縄戦」は住民を巻き込んだ日本における唯一の地上戦で、戦後８０年の節目にあたり、「平和への思いを発信」・「平和の尊さを次世代へ継承」すべく、非核宣言の村として恒久平和を希求し、今ここに不戦への決意を新たに、今後とも平和行政に努めてまいります。と施政方針で述べられている。 （１）　本村では具体的に、どのような取組を行うのか伺う。 （２）　西田昌司参議院議員の発言、米軍普天間飛行場所属UH-1ヘリコプターからの物品落下事故に対して村長の所感を伺う。	村　長

3
受付
7.6.2
今帰仁村議会

令和７年６月２日

今帰仁村議会議長　上原 祐希　　殿

今帰仁村議会議員　　根路銘 弘美

一般質問の通告について

次の事項について質問致したいので、会議規則第６１条第１項及び、第２項の規定により通告します。

記

一問一答方式

質問事項	質　問　要　旨	答 弁 者
１．イノシシによる農作物の被害状況と対策について	①今帰仁村としてイノシシ被害に対しどのような対策を講じているか	村　長
	②有害鳥獣のイノシシの定住を防ぐにはなにができるか	〃
	③村民にどのような周知をしているか	〃
２．世界遺産今帰仁城跡について	①文化財として保全する為に精査、研究している職員は何名いるか	教育長
	②城内の安心・安全対策は「今帰仁グスクを学ぶ会」のガイドとはどのように共有しているか	〃
	③今帰仁城跡を観光資源として捉えた場合、経済課観光係の職員と文化財係の職員との関わり方はどのようになっているか	村　長



令和７年６月３日

今帰仁村議会議長　　上原　祐希　　殿

今帰仁村議会議員　　與那　勝治



一般質問の通告について

次の事項について質問致したいので、会議規則第61条第１項及び、第２項の規定により通告します。

記

一問一答方式

質問事項	質　問　要　旨	答弁者
１．本村の若者に対する就業支援について	全国的に人手不足が深刻化するなか、地域の将来を担う若者の育成と定着は多くの自治体で重要な課題となっています。本村においても、若年層の就業促進やキャリア形成支援は、地域の活力維持に直結するものと考えますが、若者の就業を後押しする施策はないか、本村の見解を伺います。	村　長
２．各公民館補助金の使途について	昨年より各公民館に対し一定額の補助金を交付し、地域住民がより快適に公民館を活用できるような環境整備が進められてきました。 このような地域の拠点施設である公民館に対する支援は、住民の利便性向上や地域活動の活性化にもつながる重要な取り組みであり、大いに評価しております。 そこで、本補助金の交付にあたり各公民館における具体的な活用状況や事業の実施状況について伺います。	村　長



令和　7年　6月　3日

今帰仁村議会議長　上原　祐希　　殿

今帰仁村議会議員　　上間　　聰

一般質問の通告について

次の事項について質問致したいので、会議規則第61条
第1項及び、第2項の規定により通告します。

記

一問一答方式

質　問　事　項	質　　問　　要　　旨	答　弁　者
1．イノシシの被害対策について	イノシシの生息範囲、個体数、被害状況などの現状把握と、どのような駆除対策が行われ、その進捗を伺います。	村　　長
2．今帰仁中学校の送迎バスの運用について	今帰仁中学校下校時のバスのルートが現状国道505号のみの下車で、今泊からそのまま国道505号を折り返し帰るルートとなっているが、利用者の利便性を考慮し、折り返しの帰路は村道中央線を通し中央線でも下車できるような運行ができないか伺います。	村　　長
3．排水計画について	昨今の異常気象に伴い線状降水帯等の発生が激しさとともに増加するのではないか懸念されます。 又、実際に辺土名の比地川の氾濫被害が発生しており、まだ完全復旧に至っていないと伺っています。 本村においても、想定外の雨量による水害被害の発生を否定できないと思われる。 今後の災害防止の為、河川、用水路、排水等の総合的、抜本な計画が必要ではないか伺います。	村　　長

6
受付
7.6.3
今帰仁村議会

令和　7年　6月　3日

今帰仁村議会議長　上原　祐希　　殿

今帰仁村議会議員　　島袋　誠

一般質問の通告について

次の事項について質問したいので、会議規則第61条第1項及び、第2項の規定により通告します。

記

一問一答方式

質問事項	質問要旨	答弁者
1.今帰仁村運動公園の安全管理について	令和6年12月議会にも同様の一般質問を行ったが、その後の改善状況について伺う。 ① 倒木撤去跡のくぼみ等については数カ所迅速に対応していただいたのは認識しているが、ホッケー場のぬかるみ及びメリケントキンソウの現状について伺う。 ② 今年の6月初旬に修学旅行で今帰仁村に訪れた修学旅行生が村民体育館の玄関付近で転倒したと情報があった。そのような案件がこれまでもあったか伺う。	教育長
2.今帰仁中学校の安全管理について	① 全国的に不審者が学校敷地内に侵入するという事案が発生しているが、今帰仁中学校に校門や防犯カメラを設置する計画はないか伺う。 ② 学校から下って村道中央線に直結している道路付近での自転車の転倒事故等は発生していないか伺う。 ③ テニスコートの柵が経年劣化によって破損しているが修繕等の計画はあるか伺う。	教育長
3.セグロウリミバエ対策について	令和6年3月に沖縄本島北部で初めて確認され緊急防除・対策として令和7年4月14日より本島を緊急防除区域として、移動制限、栽培自粛等が実施されている。本村における被害状況や対策、農家や生産者の声、所管課の対応状況を伺う。	村　長

7
受付
7.6.3
今帰仁村議会

令和７年６月３日

今帰仁村議会議長　上原 祐希　　殿

今帰仁村議会議員　　石嶺美奈実

一般質問の通告について

次の事項について質問致したいので、会議規則第６１条第１項及び、第２項の規定により通告します。

記

一問一答方式

質問事項	質　問　要　旨	答弁者
１．沖縄県北部地区の米軍基地負担について	今年は戦後８０年、沖縄が日本へ復帰してから５３年です。 私は沖縄県に生まれ育ち、現在３７歳です。基地や軍隊によって守られているという感覚よりも、基地の無い今帰仁村で安心と安全を感じながら暮らしています。 そのような中、先月、今帰仁村・名護市の上空で米軍機から物資の落下という事故がおこり、とても悲しい気持ちと不安、憤りを感じています。 私たち議会からは抗議文の中に、住民居住地上空の飛行禁止について記載しました。 今後、辺野古の動向をみつつ、今帰仁村から強くこの様な事故が起こらないよう、村として今帰仁村上空の飛行禁止を訴え続けていただきたい。見解を伺います。	村　　長
２．妊娠・不妊治療・出産・産後ケア、病児保育について	人口減少が加速する中、今帰仁村で「子どもを産み、育てたい」と思える環境を整えることは、村の未来をつくる上でも極めて重要です。 妊娠・出産は、女性一人の問題ではなく、社会全体の仕組みや支援体制にかかっています。 「妊娠・不妊治療・出産・産後ケア」と、病児保育の観点からも、今帰仁村で安心して家族をつくり、育てるための支援体制と今後の方向性について伺います。 ①不妊治療の助成制度について、対象内容や実績、周知状況。 ②若い世代に対する妊娠前の健康支援（プレコンセプションケア）について、村としての認識と取り組み状況。 ③村内に分娩できる医療機関がない中、妊産婦が安心して出産できる医療連携体制や交通手段の支援体制。 ④産後ケア事業や母子への支援内容、現状の課題について	村　　長

	て伺う。また、産後うつや孤立といった精神的・社会的な支援が必要なケースに対して、どのような体制で対応していますか。 ⑤北部地域で、病児保育の環境が不十分であることに対して、村に要望の声がないでしょうか。 ⑥将来的に「今帰仁村で出産したい」と思えるような施策の展望やアイデアはありますか。	
３．防犯について	今帰仁村は自然豊かで静かな環境ですが、その一方で、夜間の照明が少なく、特に中高生など子どもたちの帰宅時に暗がりが多くて心配する声を耳にします。 また、村内には防犯カメラの設置が十分でないと感じています。 安心して暮らせる村づくりのために、街灯と防犯カメラを一体化させた「スマート街路灯」の整備など、防犯対策の強化を求めて以下質問いたします。 ①村内に設置されている街灯の数と配置状況について。 ②各公民館へ、街灯設置希望箇所の聞き取りをしたと伺っていますが、村全体で何箇所の希望がありましたか。 ③今後の街灯設置計画 ④本年３月議会で、子ども達が軽犯罪に巻き込まれない様、近隣市町村、警察や各種関係部署での連携について質問しました。名護市では、GIGA スクール端末を活用した、児童生徒の悩み相談システムを２０２３年から導入したそうです。今帰仁村でも子ども達が気軽に相談できる窓口として、オンライン相談窓口の設置ができないでしょうか。	村　長 教育長
４．農業について	①セグロウリミバエによる農作物への影響について ②スイカ農家より、「ミナミキイロアザミウマの被害軽減を本気で一緒に取り組んでほしい。ミナミキイロアザミウマが媒介するスイカ灰白色斑紋ウイルスはスイカ農家に壊滅的な打撃を与えています。スイカの産地である今帰仁でスイカ農家が激減している理由のトップにくる問題だと思います。生産者、行政、種苗会社が一体となって抵抗性品種の開発を進める事を切に願います。」と切実なご要望を受け取りました。 村はこの実態を把握していますか、また、対策についてどのように考えていますか。 ③本年３月議会で、自然・有機農法への支援拡充について質問しました。農業従事者から農林水産省が推進している「オーガニックビレッジ宣言」について伺いました。ぜひ、今帰仁村での宣言を検討していただきたい。見解を伺います。	村　　長
５.浄化槽について	本年３月議会の後、北部保健所との連携や、村内での件数把握について、どのように進めていくことになったのか進捗を伺います。	村　　長

令和７年６月３日

今帰仁村議会議長　上原　祐希　殿



今帰仁村議会議員　東恩納寛政

一般質問の通告について

次の事項について質問致したいので、会議規則第61条第１項及び、第２項の規定により通告します。

記

一問一答方式

質問事項	質　問　要　旨	答　弁
1.リチウム電池等による火災発生について	使用済みのモバイルバッテリー等の誤った使用や廃棄は、火災の危険性があるため注意が必要である。特に、リチウム電池は内部の化学反応やショートによって発火する可能性がある。今年の電池による火災は8543件と前の年のおよそ２倍に増えている。発火や発煙なども含めると、件数は２万1,751件となっている。 これを受けて、環境省は家庭から出される不要になったすべてのリチウムイオン電池について全国の市区町村が回収するよう求める方針を本年４月15日に都道府県を通じて全国の市区町村に通知した。 以上のことからこの件について見解を伺う。 1. この通知の届いている内容 2. 現在、リチウム電池の廃棄方法 3. 今後、今帰仁村での取り組み	村　長
２.マイナ保険証の今帰仁村の利用率について	マイナンバーカードと健康保険証が一体化した「マイナ保険証」について、本年２月の利用率が26.62%と従来の保険証の新規発行を停止した2024年12月の25.42%と１ポイントほどの上昇であり、以降の伸び率の鈍化の理由として、有効期限切れ、システムエラー、高齢者の利用難易度そして何よりもマイナ保険証の仕組みの複雑さと周知不足があげられる。これらの要因が複合的に影響し、マイナ保険証の利用率の伸びの鈍化を引き起こしていると考えられる。 今帰仁村においての利用率と改善策について伺う。 1. 今帰仁村の直近の利用率 2. 有効期限切れの対策 3. 高齢者への利用難易度改善策	村　長

受付
7.6.3
今帰仁村議会



令和７年６月３日

今帰仁村議会議長　　上原　祐希　殿

今帰仁村議会議員　座間味　薫

一般質問の通告について

次の事項について質問致したいので、会議規則第61条第１項及び、第２項の規定により通告します。

記

一問一答方式

質　問　事　項	質　問　要　旨	答弁者
１、三村交流事業について	伊是名村、伊平屋村、今帰仁村との三村交流事業「いいな運天港いちゃり場まつり」については、新型コロナウイルス感染症の影響により開催が中止となり、2019年の第７回を最後に今日まで交流事業が途絶えた状況となっていますが、次の二点について伺います。 ① 三村交流の当初の目的について ② 今後、あらたな三村交流の方向性について	村　長
２、通学路の安全対策について	先月の５月14日と19日、埼玉県と福岡県において、いずれも児童の列に車が突っ込むという事故が発生していますが、今帰仁村においての通学路交通安全プログラムについて二点伺います。 ① 通学路の安全確保について、安全点検はどの様に行われていますか ② 村内小学校周辺の歩車道境界防護柵(ガードパイプ)の設置状況について	教育長

10
受付
7.6.3
今帰仁村議会

令和７年６月３日

今帰仁村議会議長　　上原　祐希　殿

今帰仁村議会議員　　上原　祐希

一般質問の通告について

次の事項について質問致したいので、会議規則第 61 条
第１項及び、第２項の規定により通告します。

記

一問一答方式

質問事項	質問要旨	答弁者
１.自主財源の確保と拡大について	1. ふるさと納税のルールが厳しくなっている中、経費率 50%に抑える事が課題と捉えているが、村としての取り組み状況を伺います。 2. 令和６年度は物価高騰や米価格の高騰などから、村としての寄附状況は厳しい状況であったと感じていますが、令和６年度の寄附額と、これからの村としての取り組みを伺います。 3. ふるさと納税を主とした自主財源の拡大は、いただいた寄附金を産業振興等の投資的活用も積極的に行う事で、村内経済の好循環を創出し、経済振興とそれに伴う税収増にも繋がり、財政基盤の強化に繋がるものと考えます。村として現在の産業振興等に資する寄附金の投資的活用額と今後の取り組みについて伺います。	村　長
２.観光振興について	1. これまでも村の有する素晴らしい自然環境と歴史文化を活かした観光振興の在り方を訴えてきましたが、認定ガイド制と併せて村内マリンレジャー業等の協議会などの組織も観光協会と連携して発足させる必要があると考えますが、村としての見解を伺います。 2. 北山文化圏センター内に建設予定の道の駅の運営体制を村として検討を進めているか伺います。 3. 観光振興に取り組む体制として、現状の商工観光係２人体制では業務遂行が厳しいのではないかと考えますが、企画係と併せた企画観光課の設置を検討する事が出来ないか見解を伺います。	村　長